

KS-I/Oシリーズ  
**KS-PI/TTL8**  
取扱説明書

株式会社 システムサコム

## はじめに

このたびはKS-LAN「KS-PI/TTL8」をお買い上げいただき有り難うございます。  
ご使用いただくまえに、必ず本書をお読み下さい。  
次に、以下の内容が梱包されていることをお確かめください。

- KS-LAN KS-PI/TTL8 本体
- ACアダプタ
- 取扱説明書(巻末に保証書付属)

万一不備な点がございましたら、下記問い合わせ先までお申し付け下さい。  
保証書は、必要な事項が書き込まれているかをご確認ください。お買いあげ時に正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償保証を受けられないことがありますので、十分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかに下記問合せ先までご連絡ください。

なお、今後のお客様サポートをより充実させるため、同封のユーザー登録はがきをご返送くださいますようお願いいたします。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、本製品またはその他お客様の財産に損害を与える可能性があります。ご使用前には必ず本書をお読みの上、正しい取扱方法をご確認ください。

## 目次

はじめに .....	2
1. 概要 .....	4
2. 取扱上の注意事項 .....	5
3. 仕様 .....	6
4. 各部の説明 .....	7
5. スイッチの設定 .....	9
6. 接続 .....	13
7. 通信 .....	15
8. 外形寸法 .....	16
保証書 .....	17
保証規定 .....	18

## 1. 概要

KS-PI/TTL8は、KS-LANに接続して、TTLレベル入力をバイナリデータにしてシリアル出力する装置（以降「本機」と呼ぶ）です。本機は他のKS-LANに接続される装置と同様にID番号を持ち、複数の本機をKS-M100（以降「親機」と呼ぶ）を介して、パソコン等のホストコンピュータと接続できます。

また、KS-I/Oシリーズの出力装置とPI-PO接続すれば、デジタルデータの長距離電送も可能です。

本機には、以下のような特長があります。

### ●データ転送（アドレスモード）

KS-LANのアドレスモードを使用してマルチドロップ接続する場合、本機を最大31台親機に接続できます。

本機は、アドレスを取得して回線を開き、親機にアドレスを返信します。親機からコマンドが送られてくると、入力値を返信します。

### ●PI-PO直結モード

本機とKS-I/OシリーズのKS-POを専用のクロスケーブルでPI-PO接続した場合、デジタルデータを長距離転送できます。

### ●TESTモード

本機と親機を1:1で使用する場合や、本機をテストする場合に使用します。常に親機と接続されている状態になります。（マルチドロップはできません。）

## 2. 取扱上の注意事項

### 注意

本製品は電子部品で構成されていますので、以下の場所での保管および使用は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- 極端に高温および低温の場所
- 極端に温度変化の激しい場所
- 極端に湿度の高い場所
- 風通しが悪く、ほこりが多い場所
- 強い磁気を帯びた場所
- 液体や薬品に触れるような場所
- 衝撃や振動の加わる場所

汚れは柔らかい布によるカラ拭きか、水または中性洗剤を含ませた布で軽く拭いてください。シンナーなどの揮発性のものでは拭かないでください。

コンピュータ等との接続を行うときは、必ず本書を読んでから行ってください。

動作中に各々のケーブルが外れることがないように気を付けてください。

ケーブルを高電圧のラインと平行に敷設するのは避けてください。データにノイズがのる、もしくは全く通信できない場合があります。

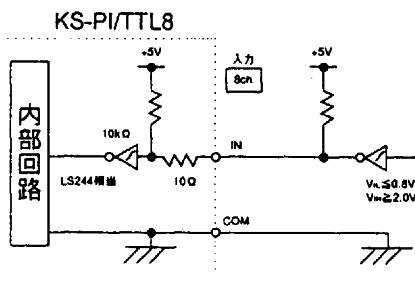
長距離通信の場合、各々のフレームグラウンドに電位差が発生し、本製品や接続されている各機器に悪影響を与える可能性があります。各機器間のフレームグラウンドは極力つないでください。

本書巻末の「保証規定」の記述も必ずご一読ください。

本書ならびに本製品の仕様は予告無しに変更することがあります。

## 3.仕様

## ◆TTL入力部



## TTL入力部構成

入力                   TTLレベル入力

入力数                8

電圧                   DC 5V

## ◆通信部 (KS-LAN部)

通信形態             KS-LAN準拠

最大通信速度       19200bps

最大伝送距離       1.2km

接続ユニット数     32台 (ポイント ツウ ポイント、マルチドロップ)

出力                   平衡型、100Ω負荷にて2V以上

入力                   平衡型、入力抵抗12kΩ以上、±200mV以上

コネクタ             Dsub15ピン (メス)

## ◆環境

動作温度、湿度     5～45°C、30～80% (結露しないこと)

保存温度、湿度     -20～75°C、5～85% (結露しないこと)

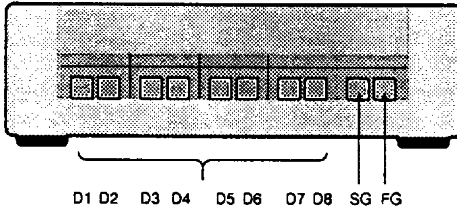
DC入力              9V、450mA

消費電力            4.5W以下

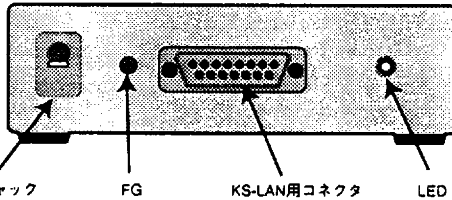
外形寸法            100<sup>W</sup>×141<sup>D</sup>×30<sup>H</sup>mm (突起物は含まず)

重量                 約500g

## 4. 各部の説明



端子側



コネクタ側

## ◆D1～D8

デジタルデータの入力端子です。

## ◆SG

シグナルグランドです。デジタル回路の0Vです。

## ◆FG

フレームグランドです。端子台と接地（アース）用のネジがあります。

## ◆DCジャック

ACアダプタから電源を供給します。電源スイッチがないので、使用しないときはこのDCジャックからACアダプタのプラグを抜いて下さい。

## ◆KS-LAN用コネクタ

ここにケーブルを接続し、親機と通信を行います。

ピン	略称	信号名	方向
1	FG	フレームグランド	—
2	TxD+	送信データホット	入力
3	RTS+	送信要求ホット	入力
4	RxD+	受信データホット	出力
5	CTS+	送信可ホット	出力
6	DTR+	データ端末レディホット	入力
8	SG	シグナルグランド	—
9	TxD-	送信データコールド	入力
10	RTS-	送信要求コールド	入力
11	RxD-	受信データコールド	出力
12	CTS-	送信可コールド	出力
13	DTR-	データ端末レディコールド	入力

KS-LAN用のコネクタのピン配列

## ◆LED

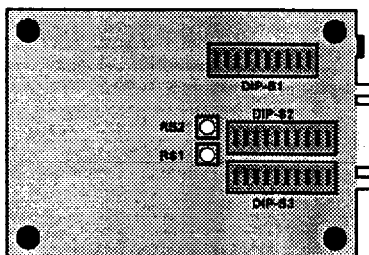
電源投入確認および回線接続確認用です。

電源が投入されると赤く光ります。回線が接続されるとオレンジ色に光ります。



## 5. スイッチの設定

DIP-S1、DIP-S2、DIP-S3、RS1 および RS2 があります。



本機を背面より見る

### 5.1 RS1、RS2 (ID 設定)

ID (アドレス) 番号は、KS-LAN に接続される各装置ごとに違う番号を設定する必要があります。RS1 が下位 RS2 が上位側の設定になり 01<sup>(16)</sup>～7F<sup>(16)</sup> まで設定できます。

00<sup>(16)</sup> は親機が使用するため設定しないでください。また 80<sup>(16)</sup>～FF<sup>(16)</sup> も設定しないでください。ID 番号が重なったりして通信ができなくなる場合があります。

### 5.2 DIP-S1 (通信設定)

各機能の設定を行います。電源投入時のみ DIP-SW を読みに行きますので、DC ジャックからプラグを抜いてから設定してください。

DIP-SW	機能	内容
S1-1	DTR 設定	アドレスモードの状態を設定
S1-2	PI-PO 直結モード	KS-PO とつなぐ
S1-3	TEST モード	機能テストを行う
S1-4	キャラクタ長 (通信)	8bit/7bit
S1-5	パリティビット0 (通信)	パリティ 有/無
S1-6	パリティビット1 (通信)	パリティ EVEN/ODD
S1-7	BPS0 (通信)	通信速度
S1-8	BPS1 (通信)	通信速度
S1-9	BPS2 (通信)	通信速度
S1-10	FG-SG	FG-SG の分離

DIP-S1 の機能

## ●DTR設定

DTR信号のレベルがLow（またはHigh）のとき子機を選択に入るよう設定します。

S1-1	内容
ON※	DTR信号がLowの時、子機選択
OFF	DTR信号がHighの時、子機選択

※工場出荷時は'ON'の設定です。

## ●PI-PO直結モード(S1-2)

本機とKS-I/Oの出力装置を専用のクロスケーブルで接続する場合に'ON'にします。

S1-2	内容
ON	PI-PO直結モード
OFF※	通常時(アドレスモード)

※工場出荷時は'OFF'の設定です。

## ●TESTモード(S1-3)

本機の機能テストを行うときに'ON'にします。親機と1:1に接続して使用します。常に回線を接続したままの状態になります。

※工場出荷時は'OFF'の設定です。

S1-2	内容
ON	TESTモード
OFF※	通常時(アドレスモード)

## ●通信設定

親機に接続されるパソコン等と通信設定を同じにして使用します。

S1-4	S1-5	S1-6	内容
OFF	OFF	-	8bit、パリティなし※
ON	OFF	-	7bit、パリティなし
OFF	ON	OFF	8bit、偶数 (EVEN) パリティ
ON	ON	OFF	7bit、偶数 (EVEN) パリティ
OFF	ON	ON	8bit、奇数 (ODD) パリティ
ON	ON	ON	7bit、奇数 (ODD) パリティ

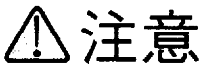
※工場出荷時は、「8bit、パリティ無し」の設定です。

## ●通信速度

親機に接続されるパソコン等と通信速度を同じにして使用します。

S1-7	S1-8	S1-9	内容
OFF	OFF	OFF	300bps
ON	OFF	OFF	600bps
OFF	ON	OFF	1200bps
ON	ON	OFF	2400bps
OFF	OFF	ON	4800bps
ON	OFF	ON	9600bps※
OFF	ON	ON	19200bps
ON	ON	ON	設定不可

※工場出荷時は、9600bpsの設定です。



**注意**

DIPスイッチのS1-7,8,9を全て'ON'に設定して親機 (KS-M100) に接続しないでください。本機、または親機の故障の原因になります。

## ●FG-SG

FG (フレームグランド) とSG (シグナルグランド) の処理ノイズ等の問題でFG-SGを分離したいときに使用します。

S1-10	内容
ON※	FG-SG接続
OFF	FG-SG分離

※工場出荷時は、「ON」の設定です。

## 5.3 DIP-S2 (終端抵抗設定)

このDIPスイッチは、KS-LANのターミネータ(終端抵抗)です。必ず全てのスイッチを同じ設定にします。1:1で接続するときは必ずONにしてください。

S2-1～10	内容
ON	ターミネータを使用する
OFF※	ターミネータを使用しない

※工場出荷時は、すべて'OFF'の設定です。

ターミネータの機能は親機(KS-M100)のマニュアルを参照してください。

## 5.4 DIP-S3

各ビットの設定を行います。

DIP-SW	機能	内容
S3-1	OFFに固定	機能拡張用予約
S3-2	OFFに固定	機能拡張用予約
S3-3～10	ビット設定	ビットの反転を行う

## ●ビット設定

DIP-SWとビットの割り付け

S3-3	S3-4	S3-5	S3-6	S3-7	S3-8	S3-9	S3-10
D7	D8	D5	D6	D3	D4	D1	D2

S2-3～10	内容
ON※	ビット反転しない
OFF	ビット反転する

※工場出荷時はすべて'ON'の設定です。

ビット反転しない場合は、電圧がかかるとビットは"1"になります。

ビット反転する場合は、電圧がかかるとビットは"0"になります。

## 6. 接続

### 6.1 マルチドロップ接続

本機を複数台と親機を1台接続します。ケーブルは、CBL-44 相当品を使用します。ケーブルの分岐にはPARA BOX (パラボックス/型名5P-25S) 等を使用します。

接続方法は親機 (KS-M100) のマニュアルを参考にしてください。(本機は子機に相当します。)



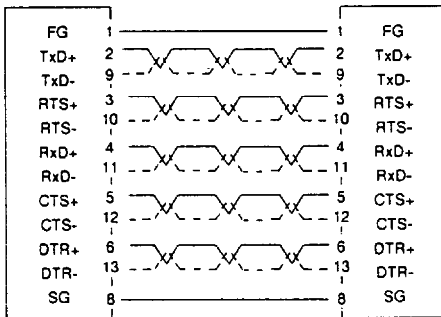
### 注意

必ずアドレスモードで使用して下さい。他のモードでは、出力信号同士がぶつかり、本機または接続されている機器の故障の原因になります。

### 6.2 1対1接続

本機を1台、親機を1台をCBL43A相当のケーブルを使用して接続します。

アドレスモードまたはTESTモードで使用してください。



1対1接続ケーブル結線(ストレートケーブル)



### 注意

ストレートケーブルで本機と親機 (KS-M100) 以外を接続しないでください。出力信号同士がぶつかり、本機または接続されている機器の故障の原因になります。

## 6.3 PI/PO直結

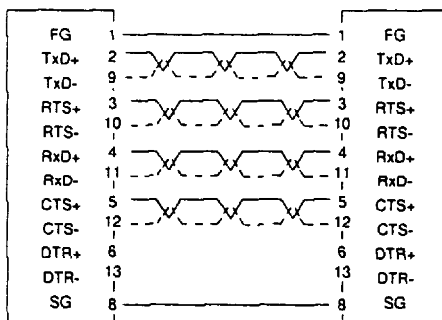
本機とKS-I/OのKS-POをCBL43C相当のケーブルを使用して接続します。

PI-PO直結モードで使用してください。それ以外では動作しません。

PI-PO直結モードで接続可能なモデルは以下のとおりです。

入力側 (下記モデルのいずれか)	ケーブル	出力側 (下記モデルのいずれか)
KS-PI/TTL8 KS-PI/MC8 KS-PI/E8	CBL-43C (共通)	KS-PO/TTL8 KS-PO/Ry4※

※KS-PO/Ry4を出力側に接続した場合は、入力側の下位4チャンネル分が対応します。



PI-PO直結ケーブル結線(クロスケーブル)

PI-PO直結モードで接続した場合の最大遅延時間は9600bps設定時に最大4msecです。



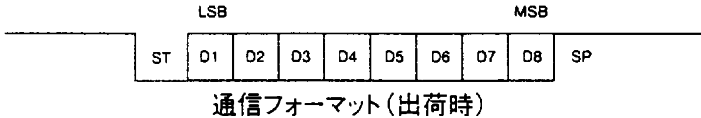
**注意**

クロスケーブルを使って親機と接続しないでください。出力信号同士がぶつかり、本機または親機の故障の原因になります。

## 7. 通信

### 7.1 通信フォーマット

本機は、バイナリーデータ転送のみの通信になります。

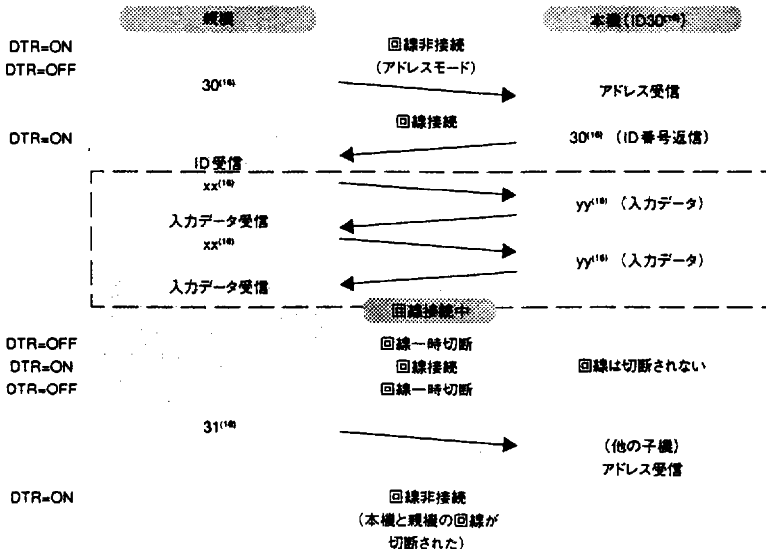


### 7.2 通信手順

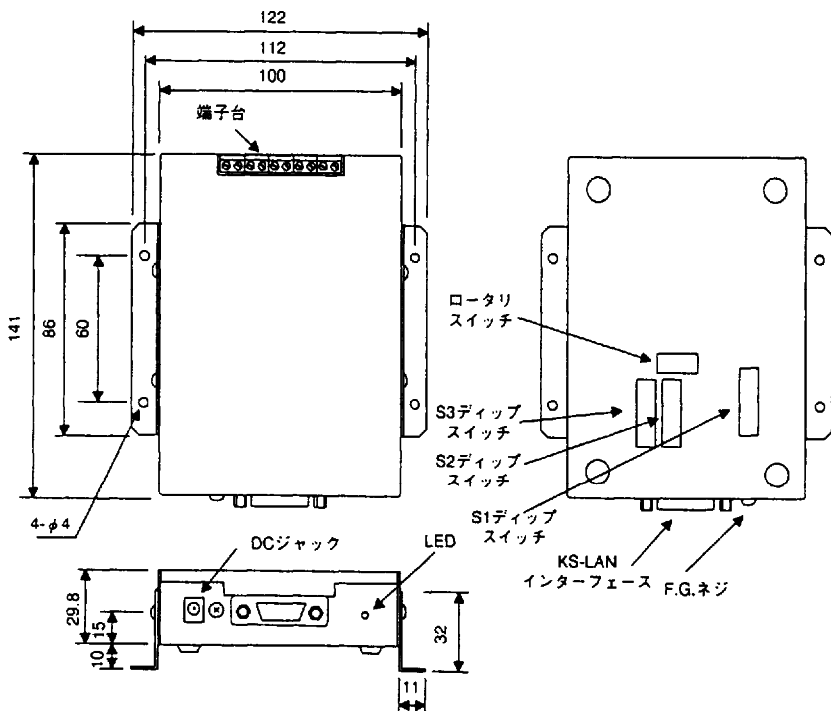
親機からアドレスが送信されると、本機は回線を接続し、設定されているIDを親機に送ります。

- 1) 回線接続後、親機から1バイトデータを受信したら、本機はそれをコマンドと解釈します。
- 2) 本機は、コマンドと同じ1バイトデータをレスポンスとして親機に返します。
- 3) 本機は、コマンドに従って、TTLレベル入力を行います。

バイナリデータのD1～D8が、TTL入力端子のD1～D8にそれぞれ対応します。DTRをOFFにただけでは、回線は切断されません。他の子機を選択するか、親機のIDの00<sup>(16)</sup>を送信して、回線を切断してください。



8. 外形寸法



※取付アングル金具は付属していません。





株式会社 システムサコム

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-6-6 吉野第2ビル4F

03-5623-5933 (代表)

03-3660-0891

<http://www.sacom.co.jp/>

970701